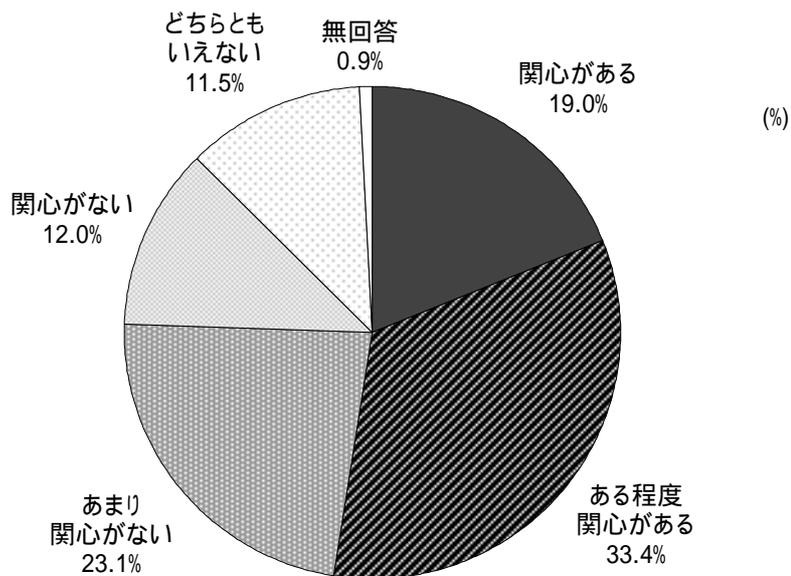


11. 科学技術

(1) 科学技術への関心度

問41 あなたは、科学技術についてのニュースや話題に関心がありますか。(1つだけ)

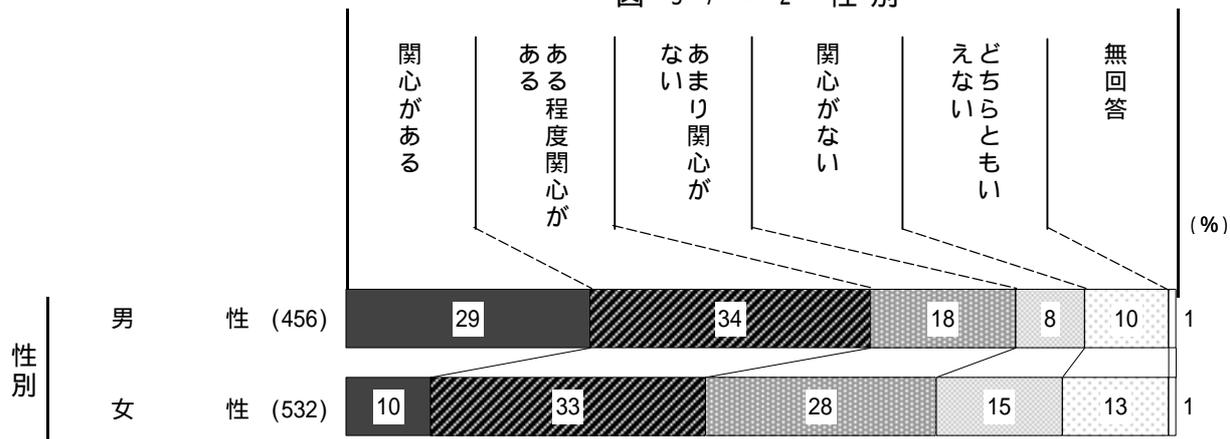
図 37 - 1



【全体 = 988】

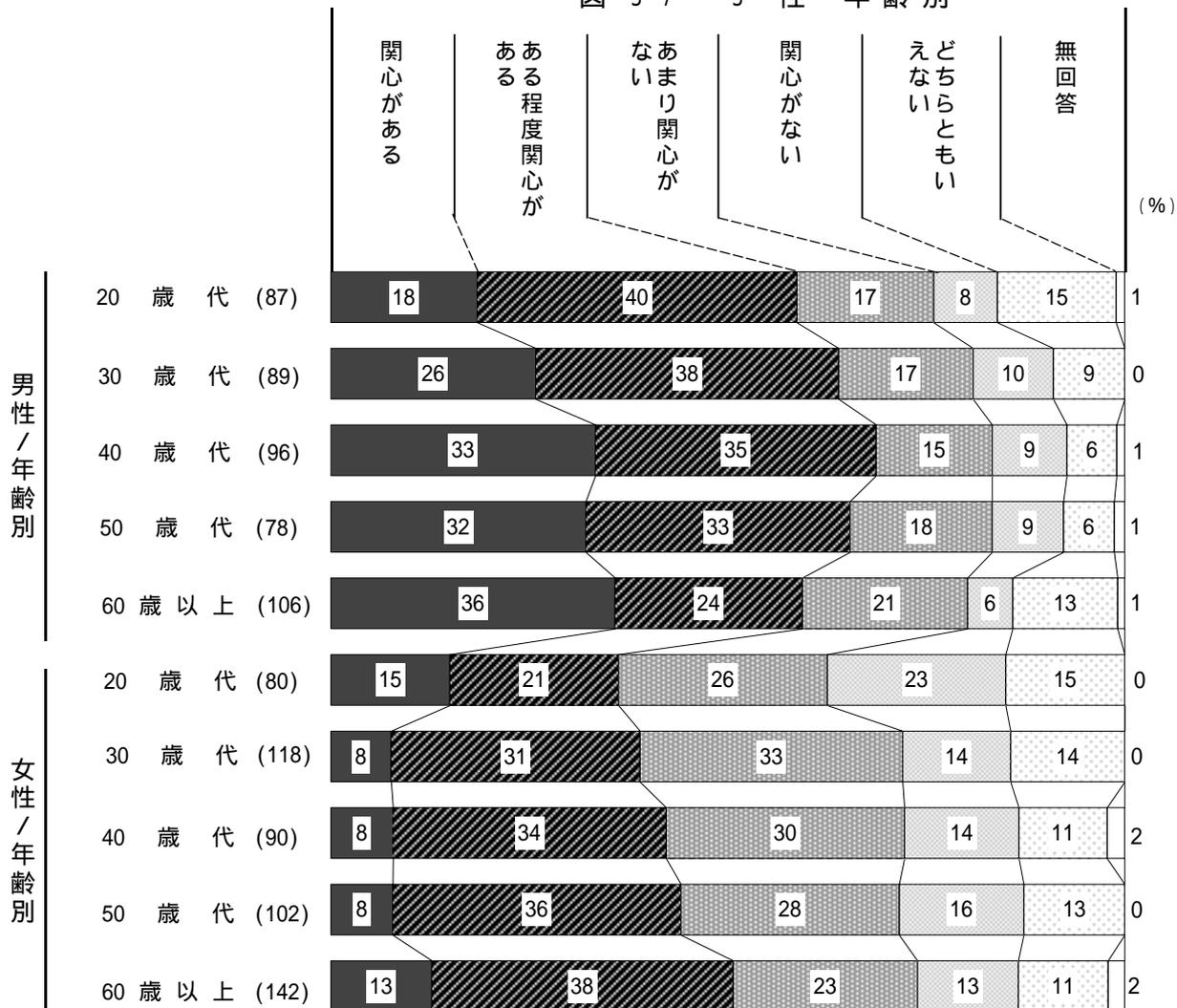
科学技術への関心度については、「興味がある」(19.0%)と「ある程度関心がある」(33.4%)を合わせた 関心がある が52.4%となっている。一方、「あまり関心がない」(23.1%)と「関心がない」(12.0%)を合わせた 関心がない は35.1%となっている。

図 3 7 - 2 性別



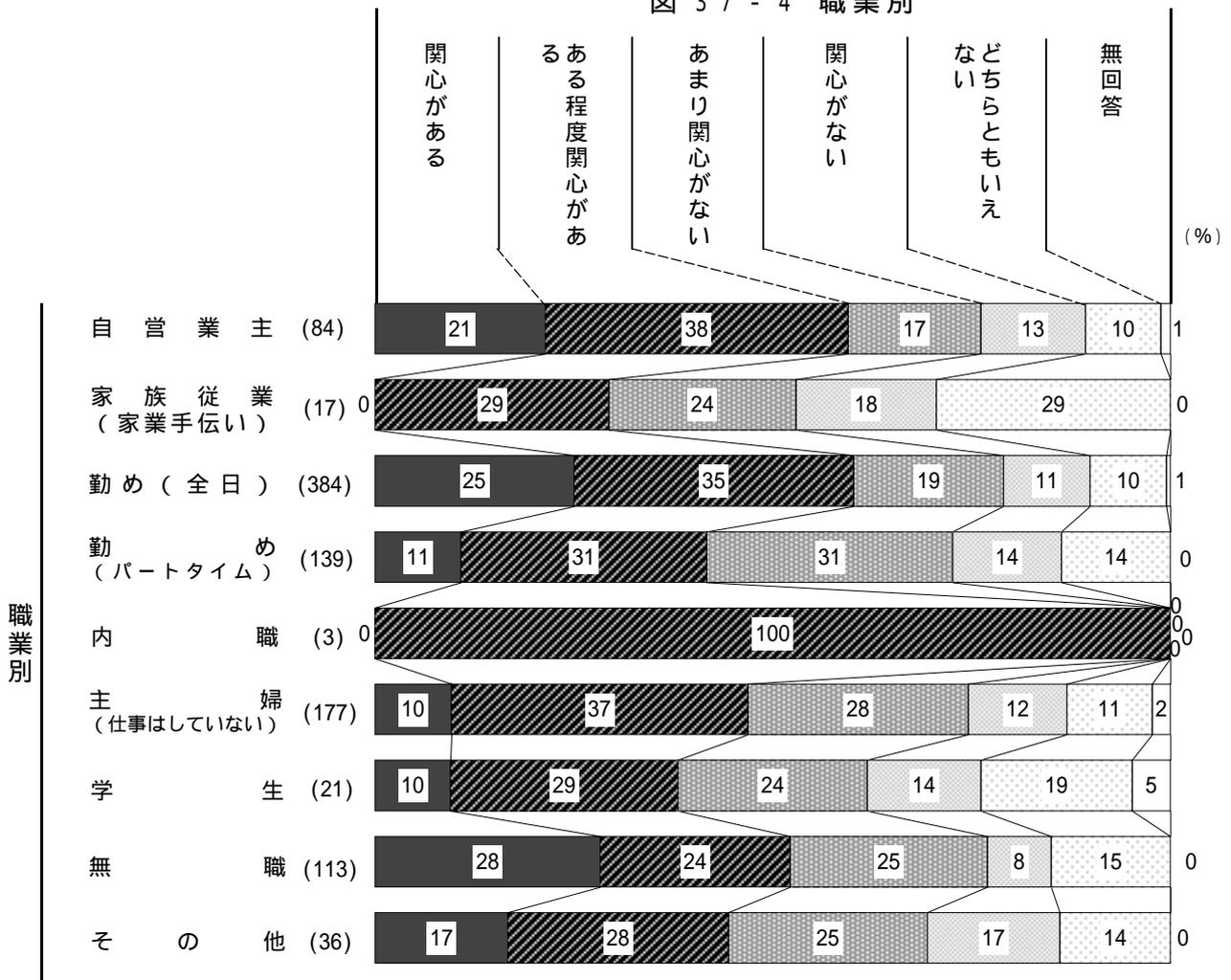
性別では、関心があるの割合は男性の方が女性より上回っている。女性は関心があると関心がないはほぼ同率である。

図 3 7 - 3 性・年齢別



性・年齢別では、男性40歳代の関心があるは最も多く70%弱となっている。男性はすべての年齢、女性50歳から60歳以上で関心があるの割合が関心がないを上回っている。一方、女性20歳から40歳代では関心がないの割合が関心があるを上回っている。

図 37 - 4 職業別

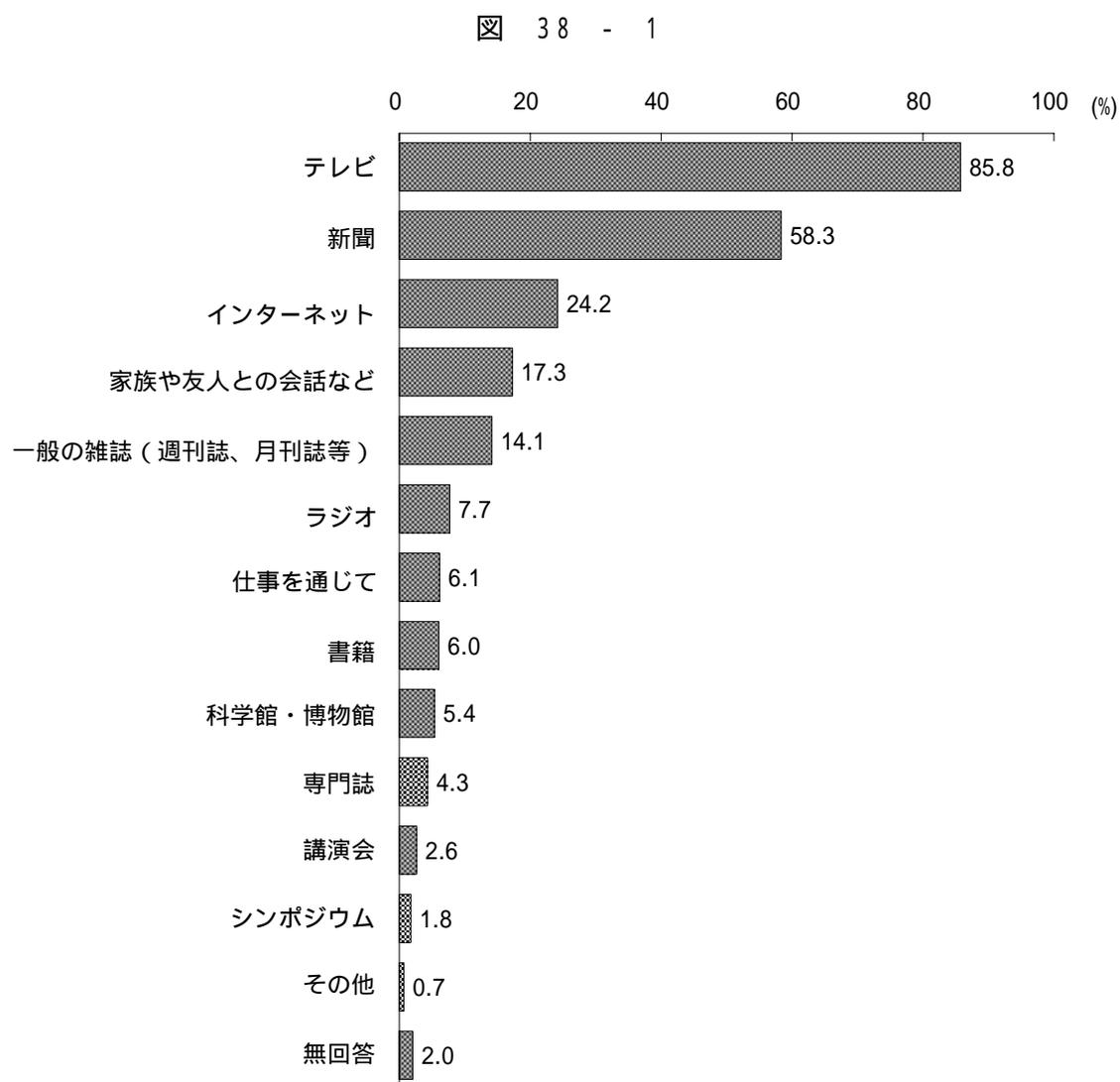


職業別では、自営業主、勤め（全日）の 興味がある は60%前後であり、 関心がない を上回っている。また、主婦、無職でも 興味がある の割合が 関心がない を上回っている。勤め（パートタイム）では僅差で 関心がない の割合が 興味がある を上回っている。

（ 印の記号は、サンプル数が少ないのでコメントを省略）

(2) 科学技術に関する知識の認知経路

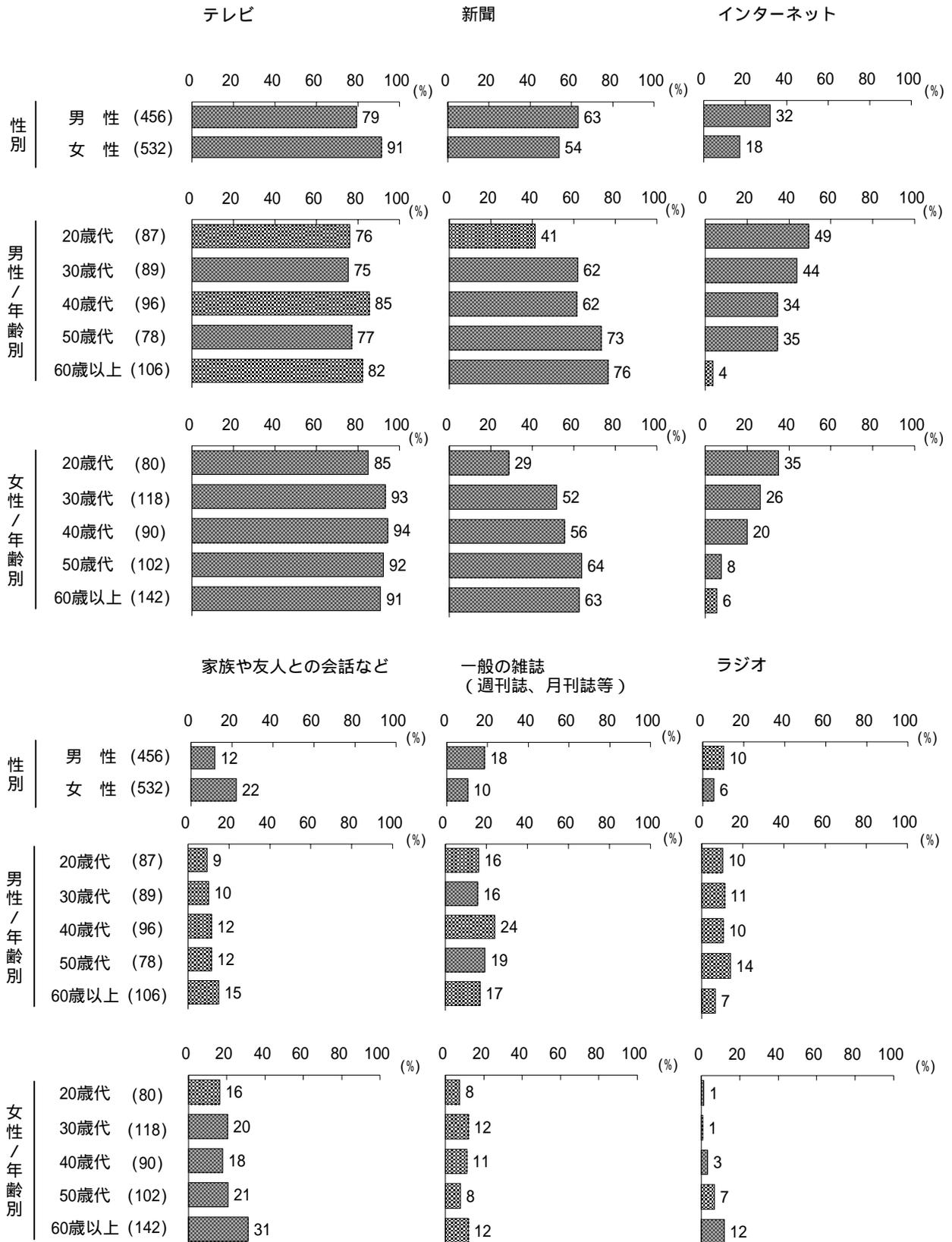
問42 あなたは、ふだん科学技術に関する知識をどこから得ていますか。次の中からいくつか選んでください。(いくつでも)



【全体 = 988】

科学技術に関する知識の認知経路をたずねたところ、「テレビ」(85.8%)が最も多く、次いで「新聞」(58.3%)となっている。以下、「インターネット」(24.2%)、「家族や友人との会話など」(17.3%)、「一般の雑誌(週刊誌、月刊誌等)」(14.1%)、「ラジオ」(7.7%)、「仕事を通じて」(6.1%)などと続いている。

図 38 - 2 性別 / 性・年齢別 (上位 6 項目)

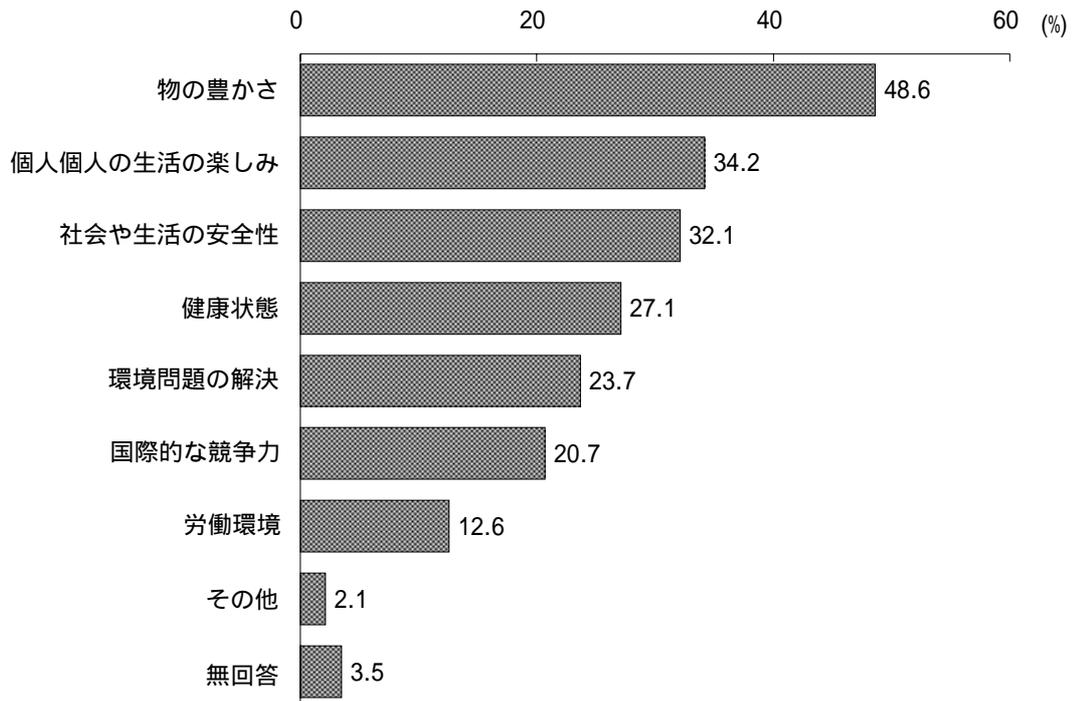


上位 6 項目の性・年齢別では、「テレビ」がすべての性・年齢で最も多い認知経路となっている。「新聞」は男女ともに30歳代以降で50%を上回り、年齢が上がるにつれて多くなる傾向がある。「インターネット」は男性の方が女性を上回り、若い年齢で多い傾向がある。

(3) 科学技術の発展により向上した事柄

問43 あなたは、科学技術の発展により何が向上したと思いますか。次の中からいくつでも選んでください。(いくつでも)

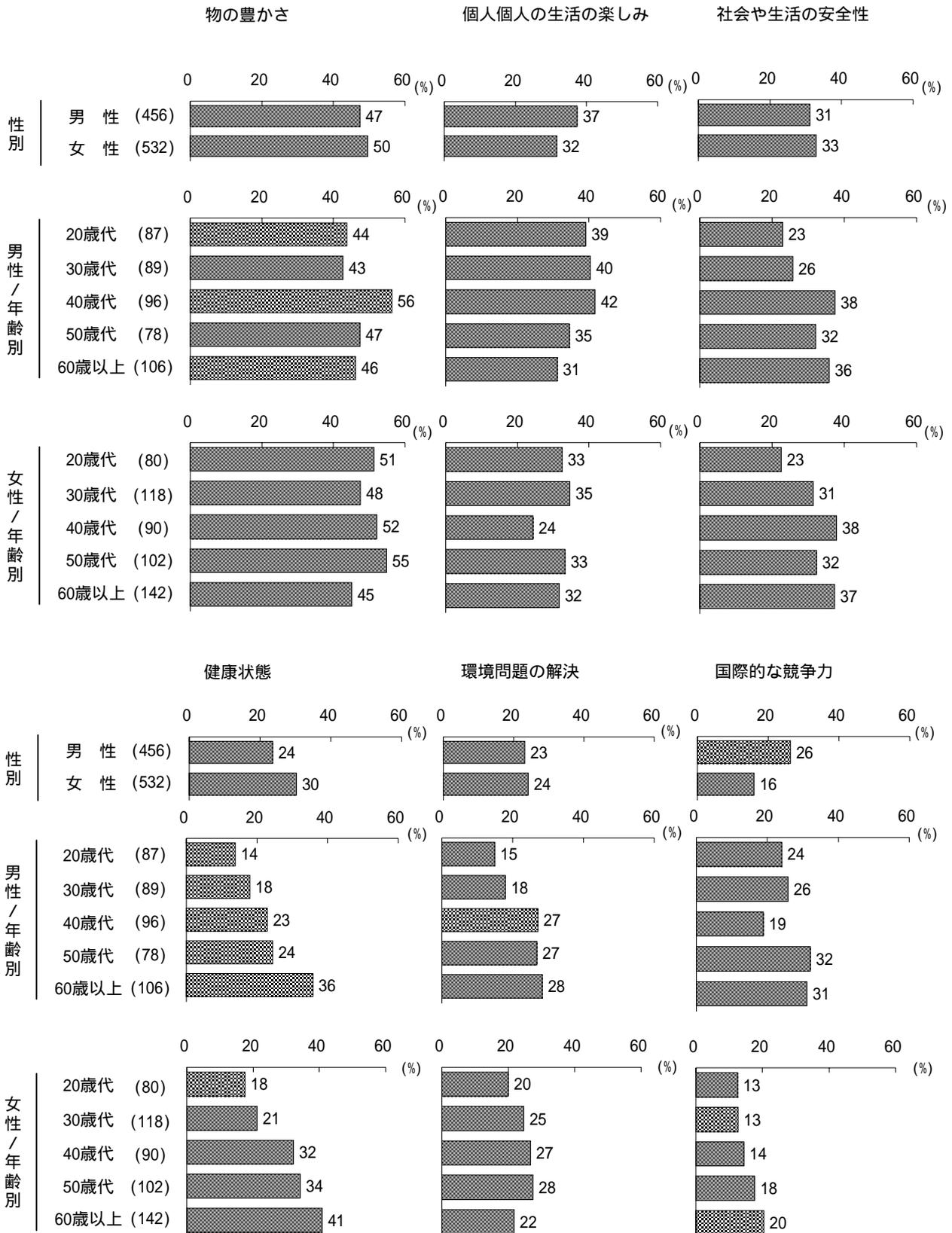
図 39 - 1



【全体 = 988】

科学技術の発展により向上した事柄をたずねたところ、「物の豊かさ」(48.6%)が最も多く、「個人個人の生活の楽しみ」(34.2%)、「社会や生活の安全性」(32.1%)と続いている。以下、「健康状態」(27.1%)、「環境問題の解決」(23.7%)、「国際的な競争力」(20.7%)、「労働環境」(12.6%)の順となっている。

図 39 - 2 性別 / 性・年齢別 (上位 6 項目)

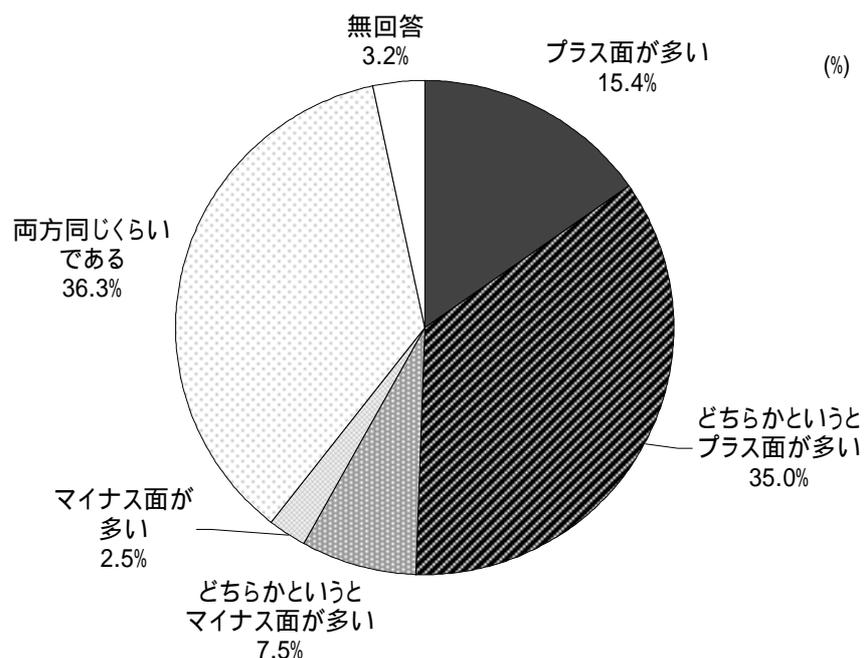


上位 6 項目の性・年齢別では、すべての性・年齢で「物の豊かさ」が最も多くなっている。「個人個人の生活の楽しみ」は男性20歳から40歳代で比較的多くなっている。「社会や生活の安全性」は男女ともに40歳から60歳以上で比較的多くなっている。

(4) 科学技術の発展のプラス面・マイナス面

問44 科学技術の発展には、プラス面とマイナス面があると言われていますが、全体的に見た場合、あなたはどちらの方が多いと思いますか。(1つだけ)

図 40 - 1



【全体 = 988】

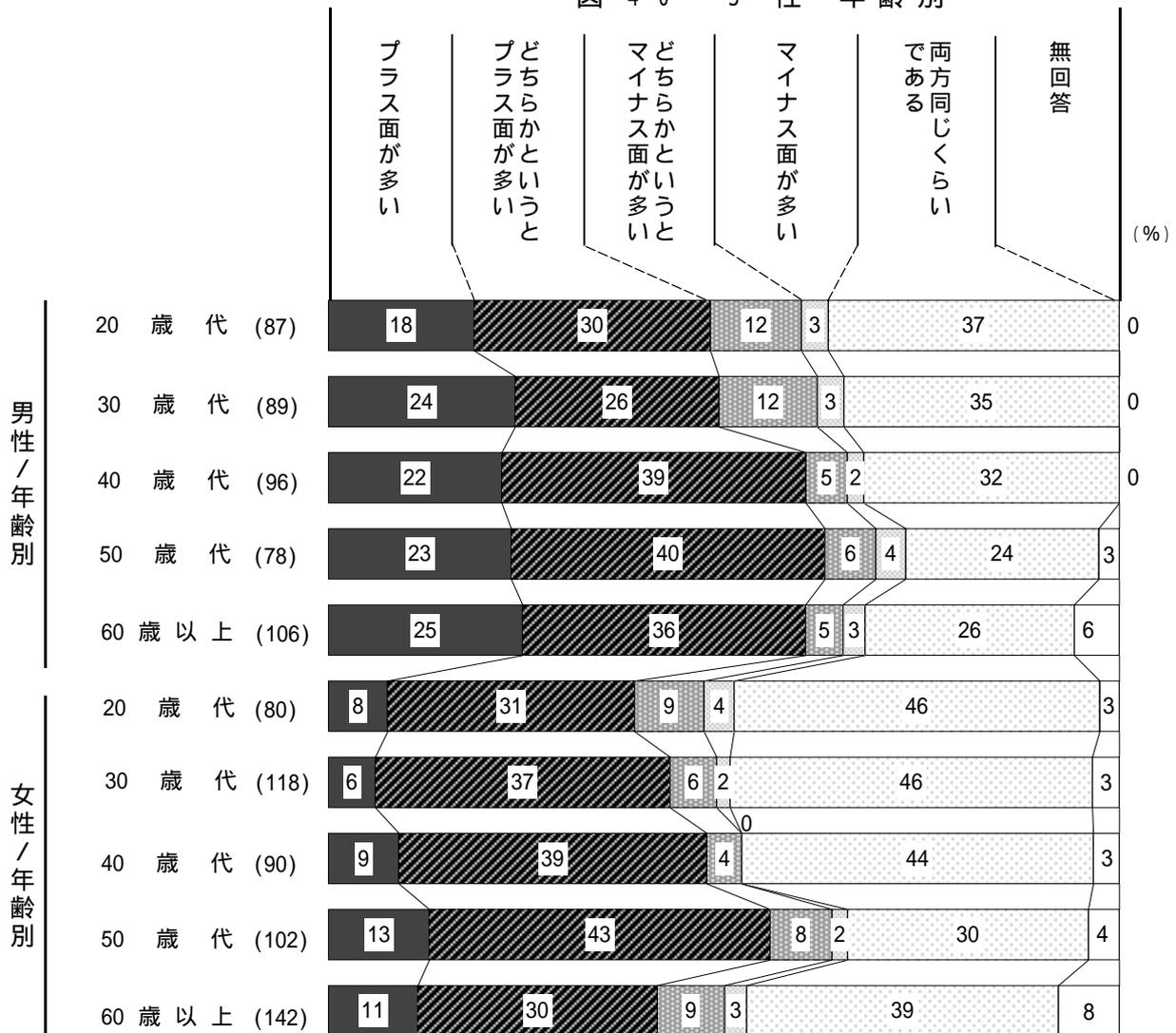
科学技術の発展のプラス面・マイナス面をたずねたところ、「両方同じくらいである」が36.3%で最も多い。「プラス面が多い」(15.4%)と「どちらかというとプラス面が多い」(35.0%)を合わせた プラス面 は50.4%である。一方、「マイナス面が多い」(2.5%)と「どちらかというとマイナス面が多い」(7.5%)を合わせた マイナス面 は10.0.%である。

図 40 - 2 性別



性別では、プラス面 の割合は男性の方が女性より上回っている。

図 40 - 3 性・年齢別

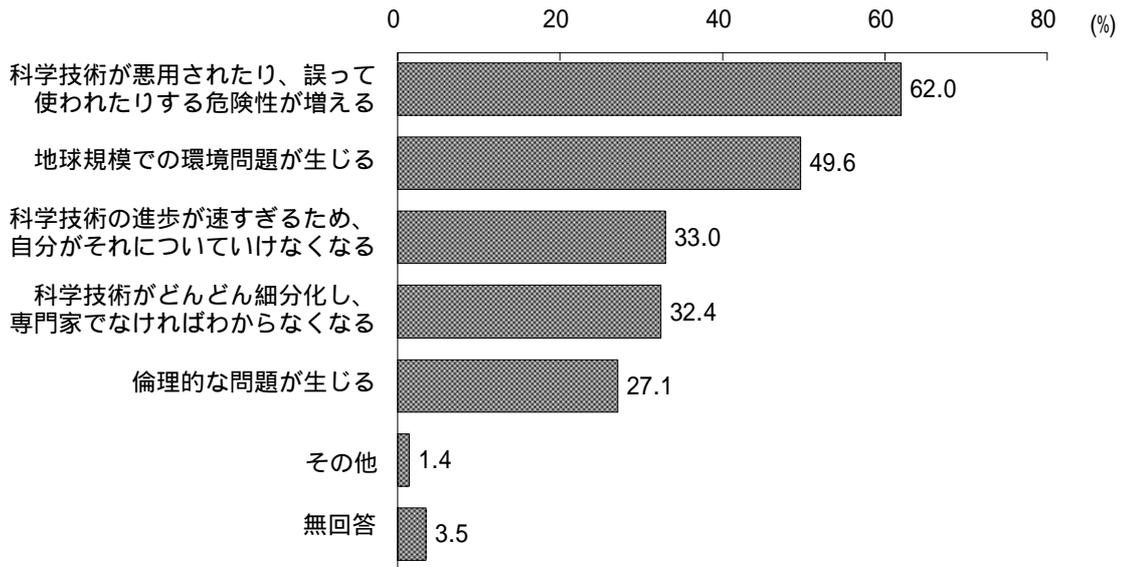


性・年齢別では、男性の40歳から60歳以上で プラス面 が60%を上回っている。男性のすべての年齢、女性40歳から60歳以上で プラス面 の割合が「両方同じくらいである」を上回っている。

(5) 科学技術の発展による課題

問45 科学技術が発展し、社会への影響がますます増えていく傾向にあるために生じている課題は何だと思いますか。次の中からいくつでも選んでください。(いくつでも)

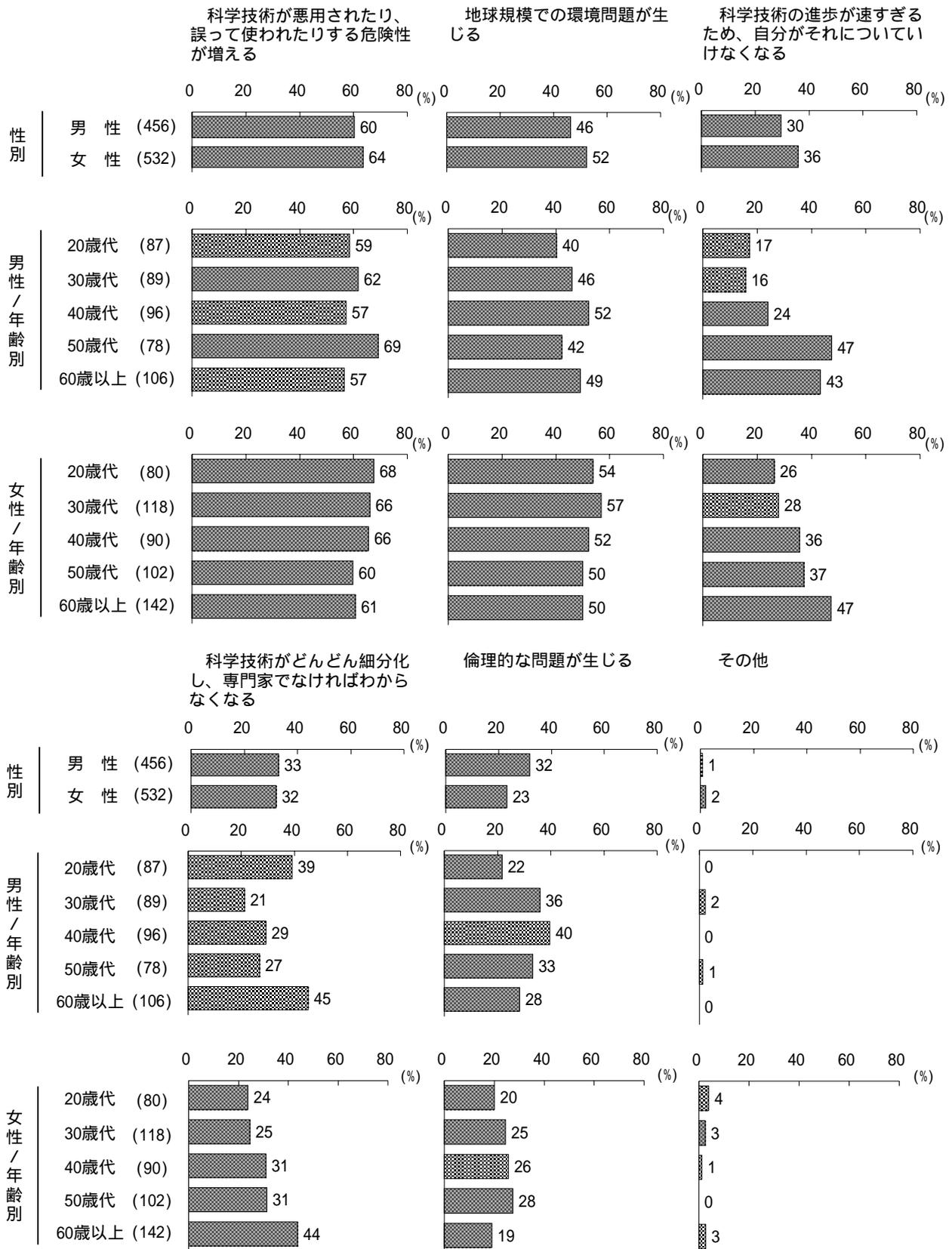
図 41 - 1



【全体 = 988】

科学技術の発展による課題についてたずねたところ、「科学技術が悪用されたり、誤って使われたりする危険性が増える」(62.0%)が最も多く、次いで「地球規模での環境問題が生じる」(49.6%)となっている。以下、「科学技術の進歩が速すぎるため、自分がそれについていけなくなる」(33.0%)、「科学技術がどんどん細分化し、専門家でなければわからなくなる」(32.4%)、「倫理的な問題が生じる」(27.1%)が僅差で続いている。

図 41 - 2 性別 / 性・年齢別 (上位 6 項目)

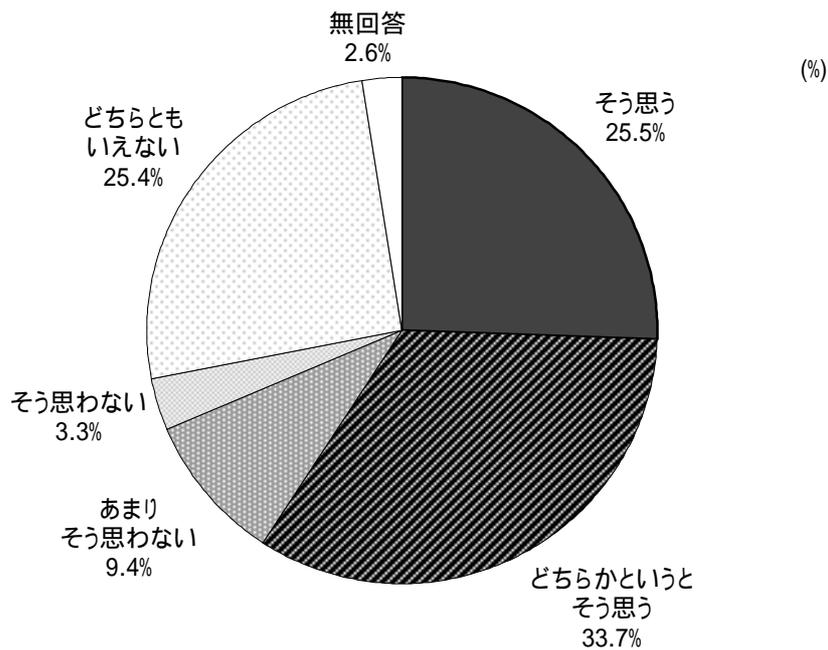


上位 6 項目の性・年齢別では、「科学技術が悪用されたり、誤って使われたりする危険性が増える」はすべての性・年齢で最も多くなっている。「地球規模での環境問題が生じる」は男性 40 歳代と女性のすべての年齢で 50% を上回っている。「科学技術の進歩が速すぎるため、自分がそれについていけなくなる」は男女ともに年齢が上がるにつれて多くなる傾向である。

(6) 科学技術の発展に対する市民参画の必要性

問46 今後、科学技術の発展が市民生活に与える影響はますます増えていくと考えられます。あなたは、科学技術政策の形成には、研究者、専門家や行政担当者だけでなく、市民自身の参画がより一層必要となってくると思いますか。(1つだけ)

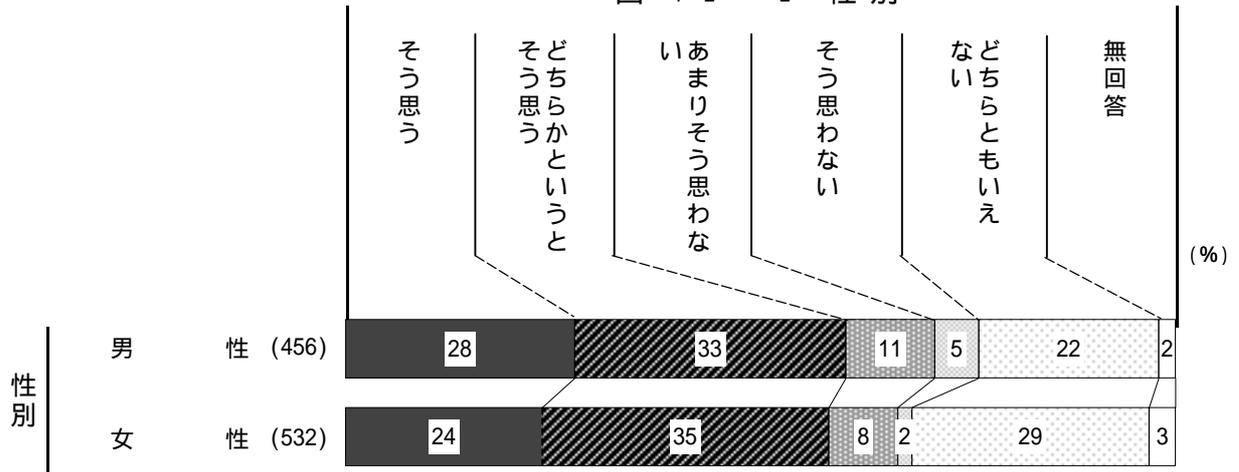
図 42 - 1



【全体 = 988】

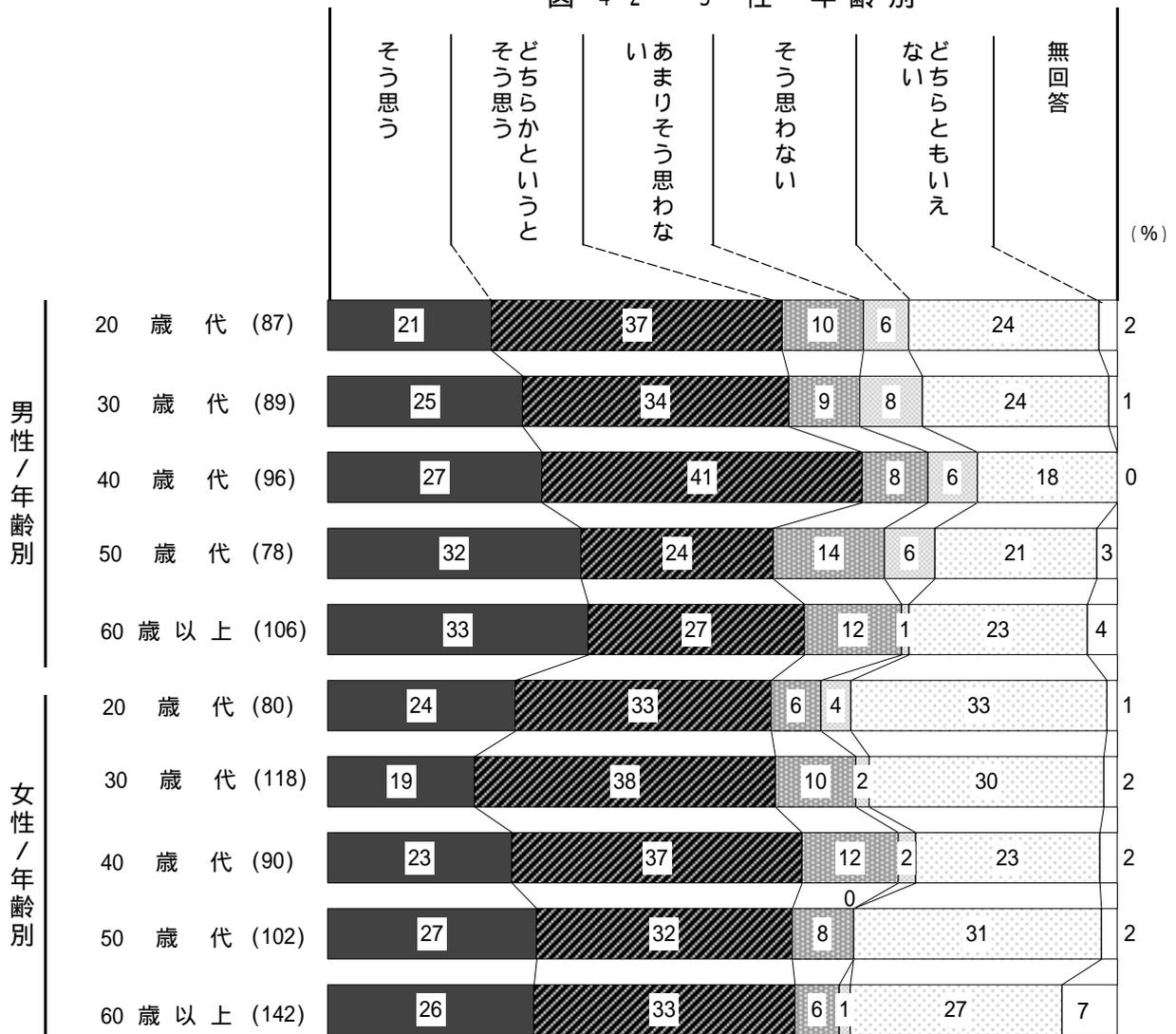
科学技術の発展に対する市民参画の必要性をたずねたところ、「そう思う」(25.5%)と「どちらかというと思う」(33.7%)を合わせた 必要派 は59.2%である。一方、「そう思わない」(3.3%)と「あまりそう思わない」(9.4%)を合わせた 非必要派 は12.7%となっている。

図 4 2 - 2 性別



性別では、男女ともに 必要派 は60%前後となっている。

図 4 2 - 3 性・年齢別

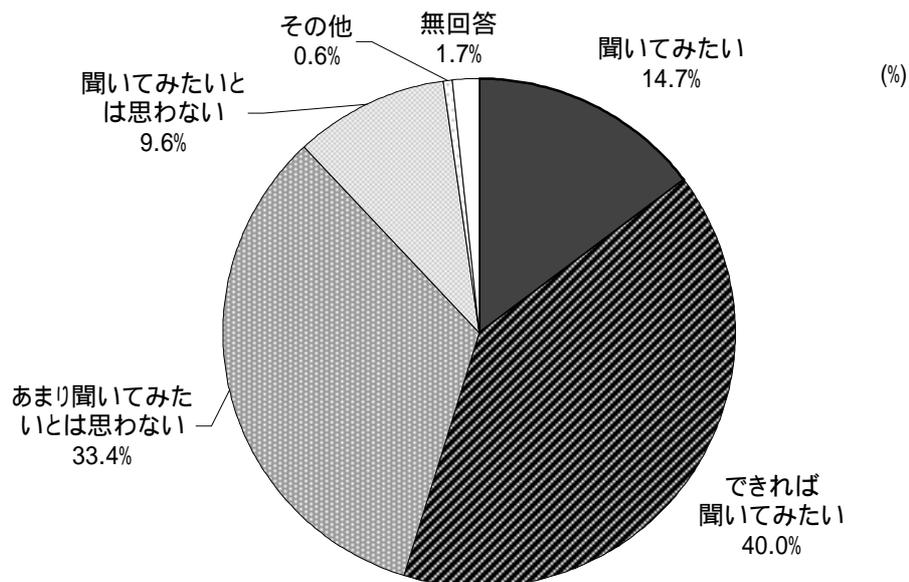


性・年齢別では、男性40歳代の 必要派 が約68%で最も多く、その他の性・年齢では60%前後となっている。

(7) 科学者、技術者の話を聞いてみたいと思うか

問47 あなたは、機会があれば、科学者や技術者の話を聞いてみたいと思いますか。
(1つだけ)

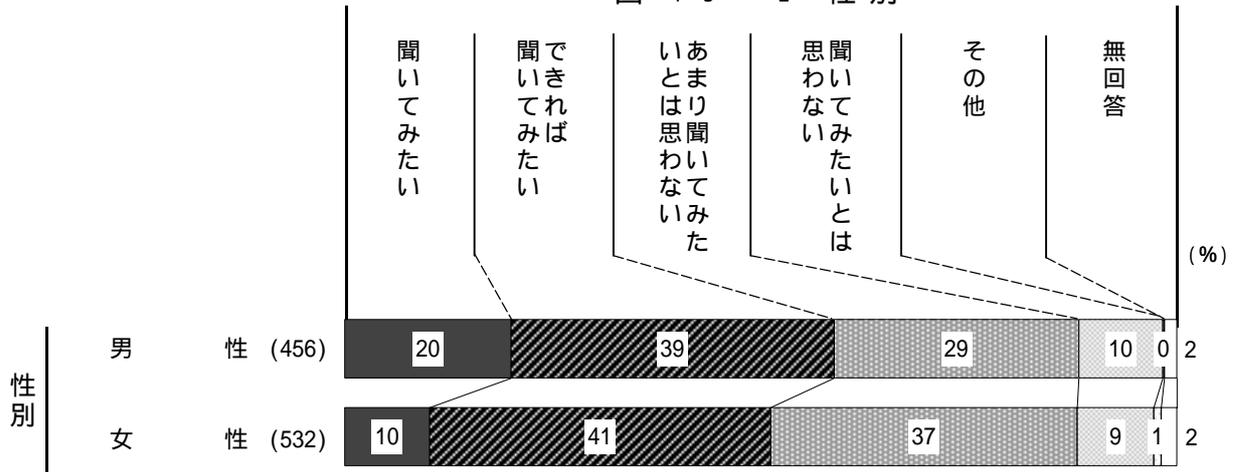
図 43 - 1



【全体 = 988】

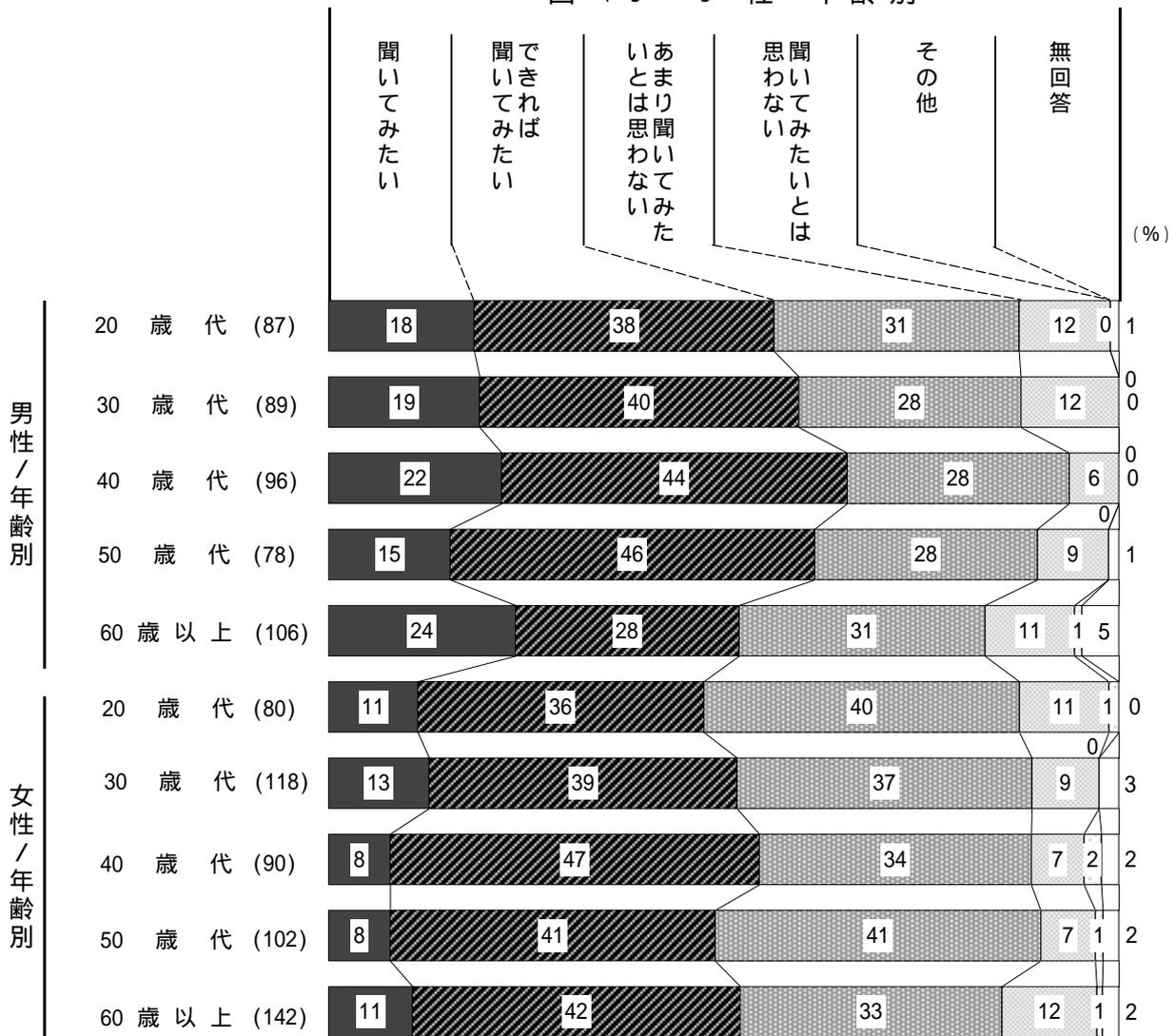
科学者、技術者の話を聞いてみたいと思うかたずねたところ、「聞いてみたい」(14.7%)と「できれば聞いてみたい」(40.0%)を合わせた 聞いてみたい は54.7%を占めている。一方、「聞いてみたいとは思わない」(9.6%)と「あまり聞いてみたいとは思わない」(33.4%)を合わせた 聞いてみたいとは思わない は43.0%となっている。

図 4 3 - 2 性別



性別では、男性の方が女性よりも 聞いてみたい の割合が上回っている。

図 4 3 - 3 性・年齢別



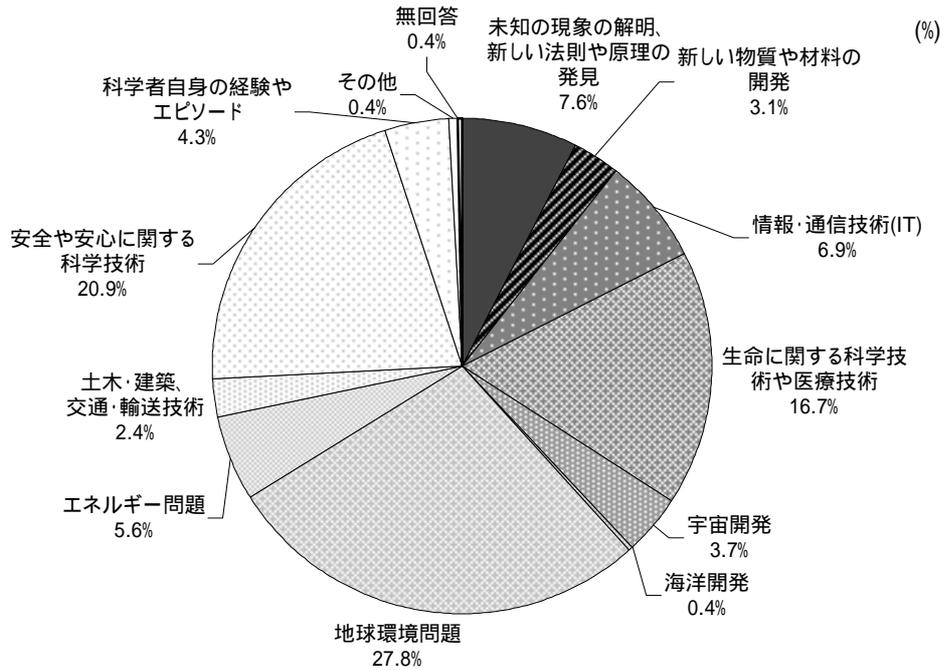
性・年齢別では、男性30歳から50歳代の 聞いてみたい が60%を上回り、 聞いてみたい の割合は男性40歳代を頂点とした山型の分布となっている。女性20歳代を除いたすべての性・年齢で 聞いてみたい が 聞いてみたいとは思わない を上回っている。

(7) - 1 科学技術のどんな話を聞いてみたいか

(問47で1または2と答えた方に)

問47-1 あなたは、具体的には、科学技術のどのような話を聞いてみたいと思いますか。
(1つだけ)

図 43 - 4



【全体 = 540】

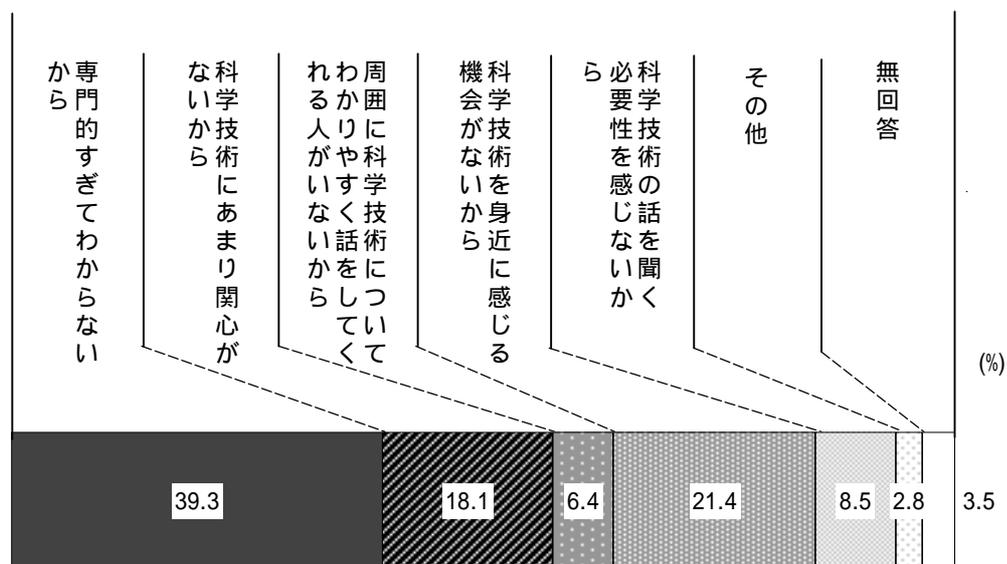
科学技術のどんな話を聞いてみたいかたずねたところ、「地球環境問題」が27.8%で最も多く、「安全や安心に関する科学技術」(20.9%)、「生命に関する科学技術や医療技術」(16.7%)となっている。次いで「未知の現象の解明、新しい法則や原理の発見」(7.6%)、「情報・通信技術(IT)」(6.9%)、「エネルギー問題」(5.6%)が僅差で続いている。以下、「科学者自身の経験やエピソード」(4.3%)、「宇宙開発」(3.7%)、「新しい物質や材料の開発」(3.1%)、「土木・建築、交通・輸送技術」(2.4%)、「海洋開発」(0.4%)となっている。

(7) - 2 科学技術の話しを聞きたくない理由

(問47で3または4と答えた方に)

問47-2 あなたが、科学者や技術者の話を聞いてみたいと思わない主な理由は何ですか。
(1つだけ)

図 43 - 5



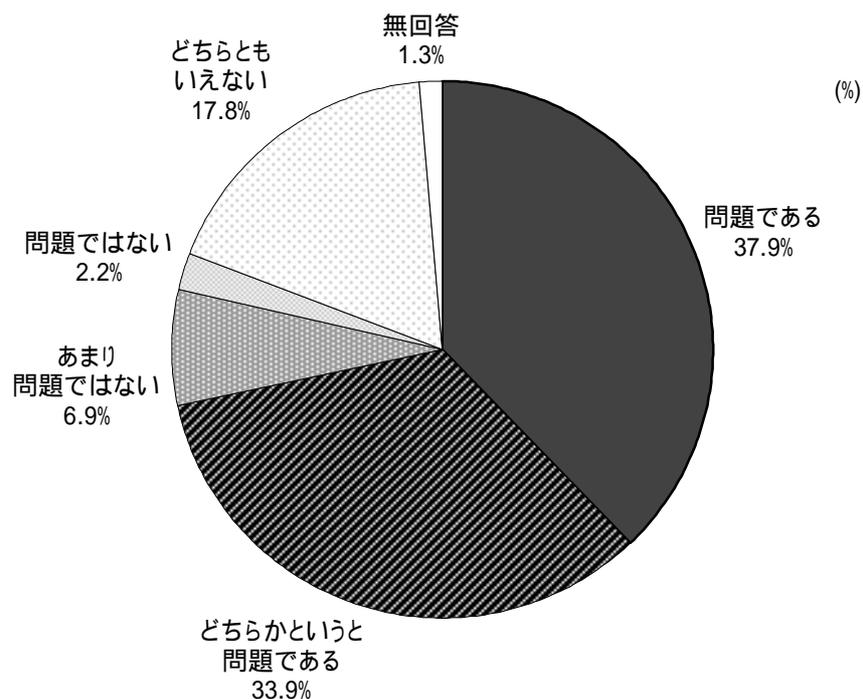
【n = 425】

科学技術の話を聞きたくないと答えた方にその理由をたずねたところ、「専門的すぎてわからないから」(39.3%)が最も多く、次いで「科学技術を身近に感じる機会がないから」(21.4%)、「科学技術に興味がないから」(18.1%)となっている。以下、「科学技術の話の聞き取りに必要を感じないから」(8.5%)、「周囲に科学技術についてわかりやすく話してくれる人がいないから」(6.4%)と続いている。

(8) 「理科離れ」に対する意識

問48 最近、子ども達の「理科離れ」現象について問題になっていますが、あなたはどのように思いますか。(1つだけ)

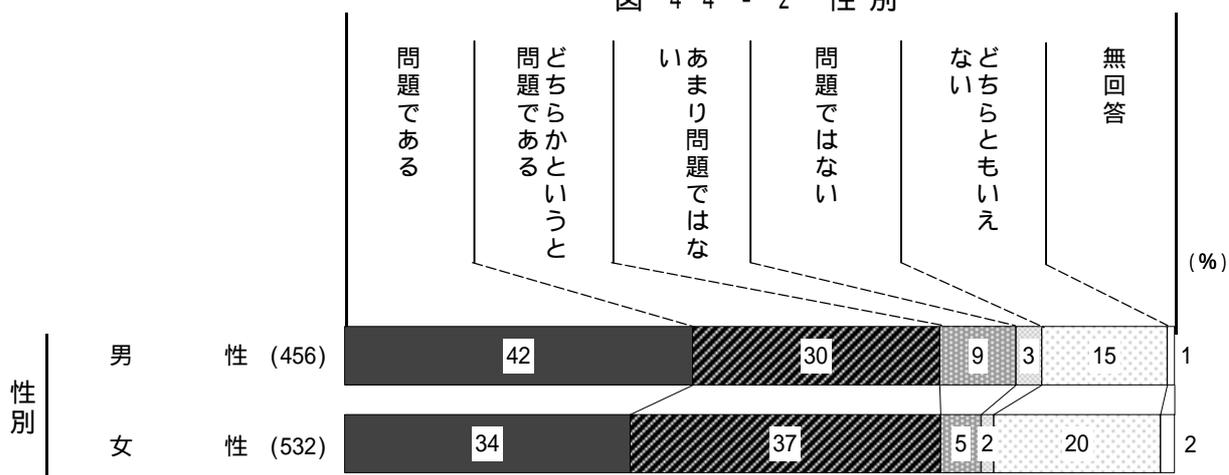
図 44 - 1



【全体 = 988】

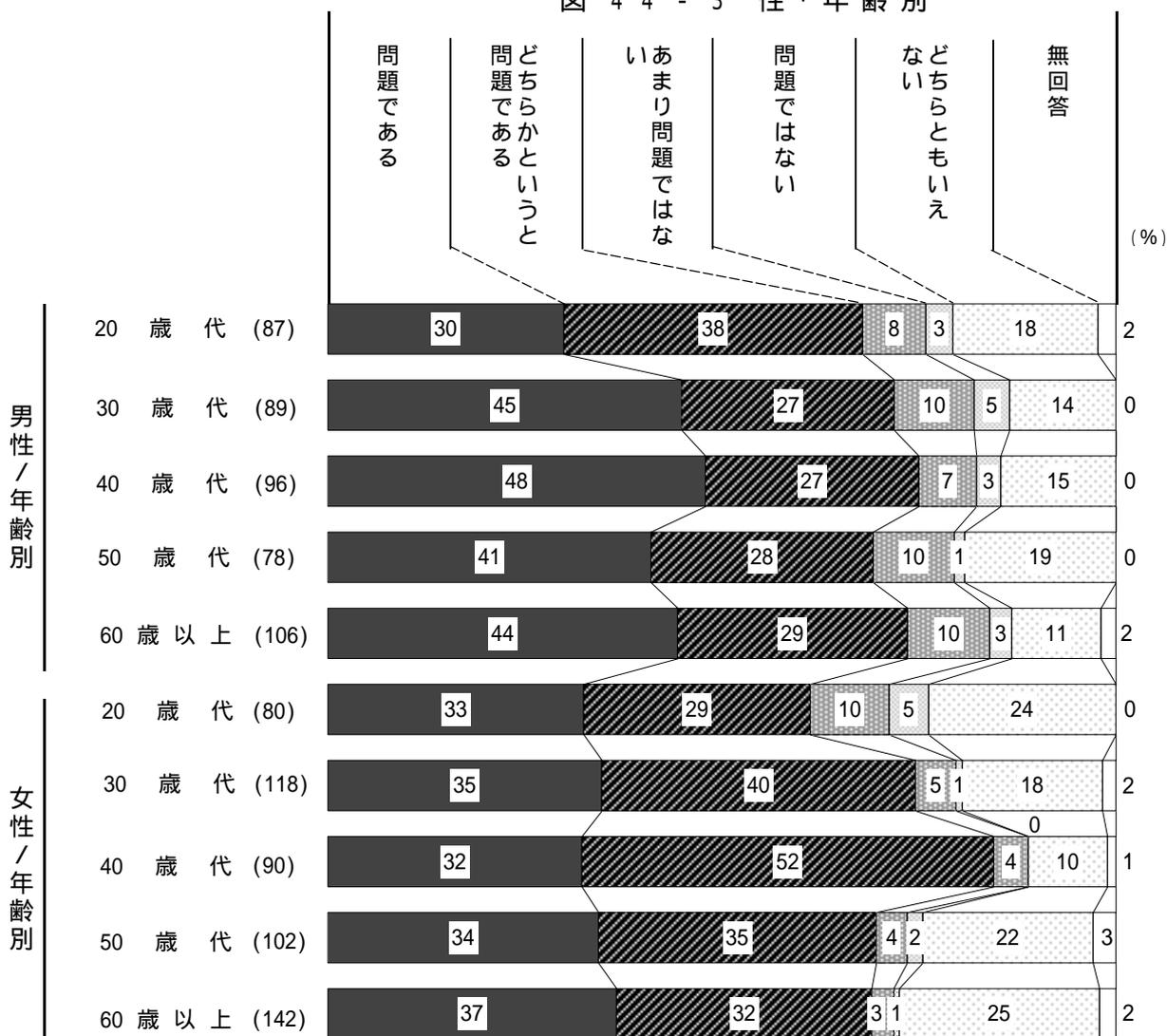
理科離れに対する意識についてたずねたところ、「問題である」が最も多く37.9%、これに「どちらかという問題である」(33.9%)を合わせた 問題である は71.8%である。一方、「問題ではない」(2.2%)と「あまり問題ではない」(6.9%)を合わせた 問題ではない は9.1%となっている。

図 4 4 - 2 性別



性別では、問題である は男女ともほぼ同率である。

図 4 4 - 3 性・年齢別

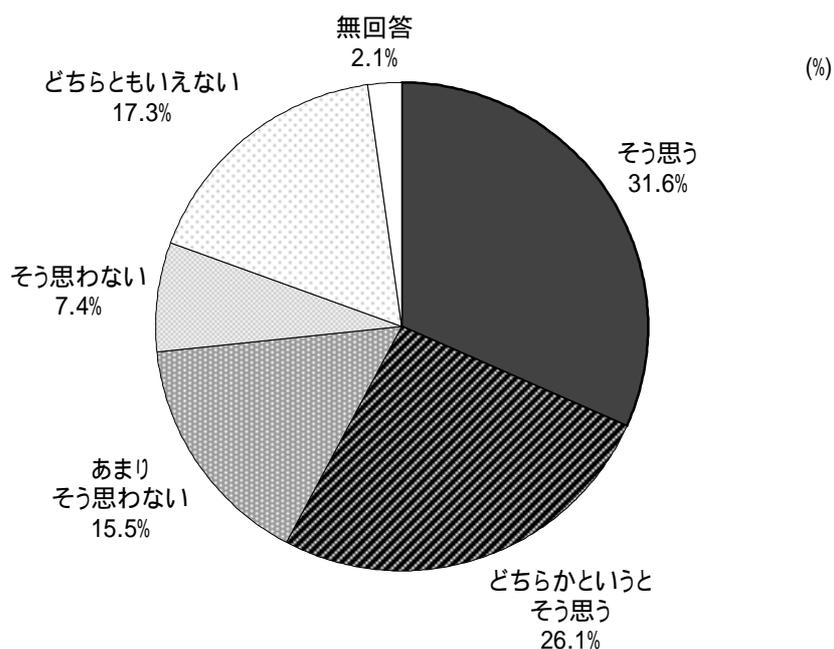


性・年齢別では、男性は30歳から60歳以上で「問題である」は40%以上を占めている。また、女性40歳代で 問題である は80%を上回り、最も多くなっている。

(9) 理科、数学の授業は生徒の科学的思考に役立つと思うか

問49 あなたは、学校での理科や数学の授業は、生徒の科学的思考を身に付けるのに役立っていると思いますか。(1つだけ)

図 45 - 1



【全体 = 988】

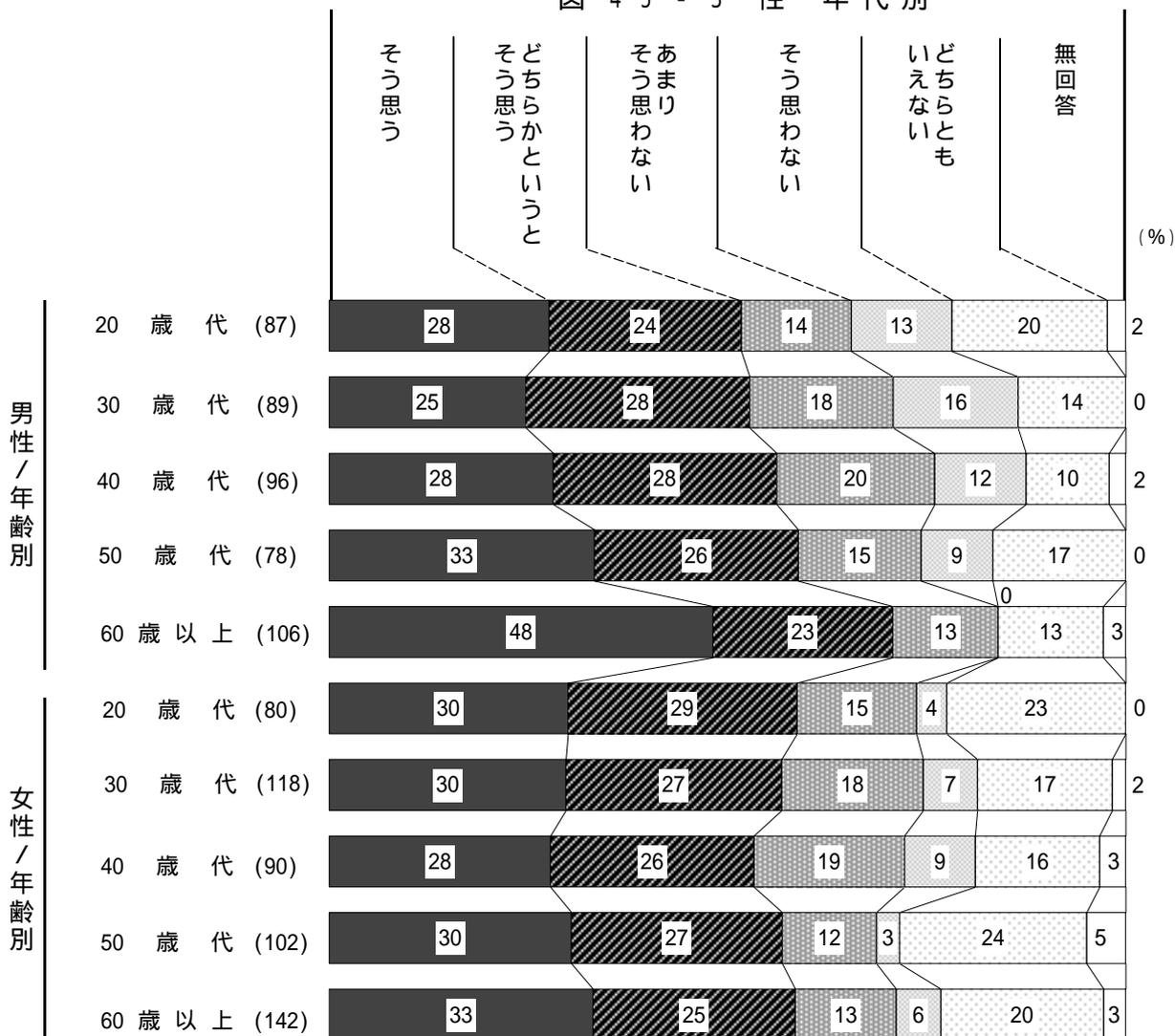
理科、数学の授業は生徒の科学的思考に役立つと思うかたずねたところ、「そう思う」が31.6%で最も多く、これに「どちらかというそう思う」(26.1%)を合わせた そう思う は57.7%となる。一方、「そう思わない」(7.4%)と「あまりそう思わない」(15.5%)を合わせた そう思わない は22.9%である。

図 4 5 - 2 性別



性別では、そう思う は男女ともに60%弱となっている。

図 4 5 - 3 性・年代別



性・年齢別では、男性60歳以上で そう思う は70%以上を占めている。男性は年齢が上がるにつれて そう思う の割合が上昇する傾向がある。女性はすべての年齢で そう思う は55%前後となっている。